

カリセン

つうしん
通信 NO.147

京都市総合教育センター
カリキュラム開発支援センター

TEL 075-371-2341 (直通)
FAX 075-353-4851



令和7年9月号

カリキュラム
カリキュラム開発支援センターでは、教育課程の開発と研修を、支援しています

教育関連資料の貸出 ～DVD・CD～

カリキュラム開発支援センターでは、新たな教育課題に対応する教育関連図書や雑誌、学習指導案等、教育関連資料の配架や貸出の充実に向けて取組を進めています。今年の夏休みも、多くの方々にご利用いただきました。

2学期も、自主的な研修や授業改善に役立つ教育関連資料等を活用して、指導に役立ててください。

※カリセンの「蔵書(図書・雑誌・DVD・CD)の貸出」は、来室して本や教育雑誌、DVD・CDを直接手に取って選んでいただくほかに、『文書交換メールを活用した蔵書(図書・雑誌・DVD・CD)の貸出』も行っています。

「教職員研修支援 SMART PORTAL」の京都市総合教育センターのHPの中の「カリキュラム開発支援センター」サイト内左側にあるタブ『図書情報』を見ていただき、貸出手続きを進めてください。

また、「教職員研修支援 SMART PORTAL」トップページ内『学習指導案検索・蔵書検索』のアイコン、あるいは、左側のメニューの中にある『指導案・図書・DVD検索TOP』をクリックしていただくと「蔵書・DVD検索」ができます。データベースからお探しの本や雑誌、DVD・CD等を検索してください。

9・10月の企画展

令和7年度 学校教育の重点

「生きる力」を育む15の取組より 11～15の取組

令和7年9月2日(火)～11月4日(火) 総合教育センター3階 エレベーターホール前

- 1 1. 運動やスポーツの実践と体力の向上
- 1 2. 保健教育の充実
- 1 3. 飲酒・喫煙・薬物に関する指導
- 1 4. 安全教育の充実
- 1 5. 食に関する指導の推進 の充実をめざして

9月2日(火)～
11月4日(火)

特設展 「京都を学ぶ」

～「伝統と文化を受け継ぎ、

次代と自らの未来を創造する子ども」の育成をめざして～

「京の食文化・京野菜・和食文化」関連の書籍を中心に



新着図書の紹介

夏休み号の
追加分です



『イラスト図解ですっきりわかる理科』

お悩み解消編』

鳴川 哲也・山中 謙司・寺本 貴啓・辻 健／著

東洋館出版社

本書のキーワードは「ズレ」。教師の意図と子どものおもいや授業場面に「ズレ」があってもうまくいかない・・・そんな悩みと解決方法がイラスト図解と簡潔な解説で紹介されています。

授業改善の方法が一目でわかる 1 冊です。

「生きる言葉」(新潮新書 1083)

俵万智 新潮社

誰でも簡単に書き手になり言葉を発信できる反面互いの背景や文脈が読み取りにくい SNS の時代。たくさんの具体例を基に、だからこそ、言葉の重要性は増していると、著者は言います。



「子どもが輝く道徳授業
～中学校道徳科の授業づくりから～」

七條正典 / 柴原弘志 あかつき教育図書

「心に残る道徳の授業」「授業づくりで大切にしたいこと」「深い学びにつながる授業づくり Q&A」では多くの教材例が示され、いじめや情報モラルといった今日的な課題、ICT 活用についても触れられています。

また、効果的な校内研修の取組や管理職・道徳教育推進教師の役割など学校全体で取り組むポイントも紹介されています。

道徳をこれから学んでいこうという教師にとって分かりやすい内容であると同時に、組織の中の様々な立場で道徳教育を考えることができるでしょう。

教育雑誌『月刊 学校教育相談』(アーカイブ)ご紹介

『月刊 学校教育相談』は、2025年3月をもって休刊しました。
「学校教育相談」について書かれた数少ない貴重な教育雑誌でした。
カリセンでは、バックナンバーを揃えています。ぜひ、ご活用ください。

ほんの森出版株式会社
編集企画 学校教育相談研究所
発行人 小林敏史
編集担当:金原 優

2024. 10月号

特集1 「自分を好きになる」ってどういうこと？

- ◇「聞き切る」ことで、心の安全地帯になる
- ◇やりたいことや挑戦は、「自分を好き」への原動力
- ◇子どもを励まし、挑戦が成功する経験を与える
- ◇自分の成長や頑張りを認知するための支援
- ◇「良さ」を引き出し、「好き」の好循環を生む

特集2 子どもの特性を受け入れられない保護者

- ◇適切な実態把握で、保護者との共通理解をつくる
- ◇保護者への見方を変えると味方になる
- ◇生徒軸のゴールセッティングで保護者と協働する
- ◇お互いの違いよりも、共通点を知る

編集後記より

相手を変えようとするのではなく、解決思考のマインドで、子どもと保護者と教師それぞれの一生懸命の方向を一致させることが大切。

2016. 10月号

特集 心のケアの準備

どこでも起こり得る災害に備えて

- ◇熊本地震における心のケア
どんな準備をしていて、どう対応したか
- ◇心のケアの現状を踏まえ、準備について考える
東日本大震災被災地の今から
- ◇災害後の心のサポート三段階モデル
ストレスチェックとストレスマネジメントと教育相談の留意点
- ◇大災害が起こった時の心のケア
教員向け配布資料



DXスクエア



夏季基本操作研修が終了しました。今年も受講希望者が多く、急遽、6講座を追加し、計12講座を開催しました。今回は参加者のお声を紹介いたします。



ロイロノート

- ・ロイロノートの仕組みや使い道のアイデアが浮かびました。例えば美術の授業のアイデアスケッチの下書きでテキストカードを活用できると思いました。
- ・日本語指導でも音読練習やグループ指導の時の答えの共有など活用できると思いました。幅広く利用したいと思いました。
- ・シンキングツールを使って考えると、思考の過程が明確になり、話し合い活動の時に、自分の考えを説明しやすくなるし、自信をもって話せると思いました。
- ・ちょっと役立つ実践例、資料箱の使い方など大変勉強になりました。また2学期から今日学んだことを使っていききたいと思います。



Teams

- ・なんとなく使っていた機能とか、よくわからずやっていたチャットなどが今日教えていただきクリアになったように思います。使わないと忘れてしまうので、積極的に使って自分のものにしていききたいと思います。
- ・よくわからないまま使っていたので、系統立てて大事なことを教えていただけて、とてもわかりやすかったです。
- ・使用する上でよく出てくるワードについて簡単に説明していただけたのですっきりしました。teamsがよりスムーズに使っていけそうです。
- ・細かな部分をしっかりと教えていただけたのでとても為になりました。



Forms

- ・Formsの基本的な操作を知ることができました。自分でアンケートを作成することができたので、校務分掌などでも生かしていきたいと思います。
- ・保護者や教職員間のアンケートだけでなく、単元の振り返りとしてFormsを使用することができるのではないかと考えることができました。
- ・Formsを使って2学期に入ったらすぐに学校評価アンケートを実施する予定です。保護者や児童が答えやすくなるようなアンケートを作りたいと思います。

